第１節 リーディング・プロジェクトの目的・位置付け・構成

（１）目的と位置付け

第２次熊谷市総合振興計画基本構想における取組の方向性（施策の大綱）を踏まえ、第２次熊谷市総合振興計画後期基本計画で設定された８つの政策分野を横断するプロジェクトです。

施策の大綱

リーディング・プロジェクト

後期基本計画
８つの政策分野

（２）構成

リーディング・プロジェクトは、８つのプロジェクトにより構成します。

① DXによる市民生活の利便性向上と新たな経済活動の創出
② 市民生活を支える将来を見据えた都市基盤・社会資本の整備
③ 元気で魅力的な産業の創出
④ 親子の笑顔が輝くまちづくり
⑤ 誰もが健康で活動し、支え合う地域づくり
⑥ 伝統文化とスポーツにより人々が交流するまちづくり
⑦ 安心して暮らせる安全なまちづくり
⑧ ゼロカーボンシティを推進するまちづくり

①　DXによる市民生活の利便性向上と新たな経済活動の創出

市民の利便性を向上させ、市民の快適な生活とともに、満足度を向上させられるように、デジタル技術を活用した環境整備を進め、社会情勢やニーズの変化に速やかに対応した効果的な行政施策を実施するための、自治体ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）を推進します。

加えて、様々な官民データの分析や事業者との連携を通じて、市民の活動や暮らしの質の向上に資するサービスを創出するとともに、事業者の新規事業開拓による経済活動を促進するほか、スポーツや文化に係る来訪者への情報提供等により、新たな人の流れを生み出し、他地域との交流を活性化するなど、スマートシティの実現による活力あるまちづくりを目指します。

取組の方向	主な取組内容
熊谷市 Society 5.0※の推進	・スマートシティ※の推進 ・スマートエコタウン※の整備促進 ・3D都市モデルの整備・活用 ・公共空間のWi-Fi環境の整備
生活利便性の向上	・シティプロモーションの推進 ・熊谷まちあるきアプリ「くまぶら」の活用 ・デジタル地域通貨の導入・普及 ・マイナンバーカードの利活用拡大
デジタル人材の育成	・デジタル人材の育成、活用 ・教育現場のデジタル化の推進
デジタルガバメントの推進	・自治体DXの推進 ・データ連携基盤の整備と活用 ・オープンデータの推進

※Society5.0　IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

※スマートシティ　様々なデータを収集・統合の上、AI・IoTなどのデジタル技術を活用し分析しながら都市インフラ等の最適化や課題解決を図ることで、企業・生活者の利便性や快適性を向上し、持続可能なまちづくりを目指すもの。

※スマートエコタウン　スマートシティを進める技術を活用しながら暑さに対応したスマートハウスなど街を面的に整備するもの。

② 市民生活を支える将来を見据えた都市基盤・社会資本の整備

市民の活動を促進し、市民生活を充実させるために必要なインフラ整備として、公共施設の再編や生活道路等の整備はもとより、首都高速道路に接続する高規格道路の延伸や利根川新橋の建設により、都心や周辺地域との交通アクセスの向上を図ることで、企業立地の優位性等を確保し、北関東エリアでの交流連携による広域経済圏の構築により、雇用の促進、流通の拡大を推進し、熊谷市の拠点性を確立します。

新幹線、ＪＲ高崎線、秩父鉄道線及び路線バス等が結節し、市民活動・経済活動の拠点である熊谷駅を核として、星川を生かしたまちの品格の形成に取り組むほか、同駅南口エリアでは、荒川周辺等、緑と潤いに満ちた環境を生かしながら再整備を進め、市民体育館の更新も含めて様々な活動や憩いの場を創出します。あわせて、（仮称）北部地域振興交流拠点施設の整備により、県北地域の産業支援機能の強化とともに、まちなかでの市民の交流・活動拠点を整備します。

また、東部エリアの産業拠点として、秩父鉄道線ソシオ流通センター駅周辺エリア等の再整備を進めるとともに、新たな産業団地整備を推進することで、産業集積を図り、地域活力の創造を支援します。

取組の方向	主な取組内容
道路ネットワークの充実	• 首都高速道路の延伸促進 • （仮称）南部東西幹線道路の整備促進 • 利根川新橋の建設促進 • 生活道路の改修・整備
交流拠点の拡充	• （仮称）道の駅「くまがや」の整備の推進 • 星川シンボルロード周辺のにぎわいの創出 • 熊谷駅南口エリアの開発促進 • 新市民体育館を含む荒川公園周辺の再整備 • 市民が集う公園整備
産業集積の促進	• （仮称）北部地域振興交流拠点施設の整備推進 • ソシオ流通センター駅周辺エリアの開発推進 • 産業団地整備の推進
公共施設の充実	• 公共施設マネジメントの推進 • 市役所本庁舎・分庁舎の再編整備の検討 • 給食センターの建替整備

③ 元気で魅力的な産業の創出

県内有数の農業生産地であり、県農業機関の集積地でもある本市の強みを生かし、産業としての農業の振興を図るため、生産者と農業団体・経済団体等が連携して取り組む農産物のブランド化や６次産業化を支援するとともに、地元農産物や加工品をＰＲする（仮称）道の駅「くまがや」の整備を進めます。あわせて農業の生産性向上や新規就農者への支援等とともに、農業委員及び農地最適化推進委員との連携で遊休農地の増加を防ぎ、地域環境の健全な維持に取り組みます。

また、市内産業の活性化のために、市内企業の事業拡大等への支援や企業誘致と併せ本社機能の誘致を推進します。また、「稼ぐ力」の更なる強化のため、各工業団体の産学官金連携によるビジネスマッチングや共同研究、製品開発に向けた取組等を支援します。

まちなかのにぎわいの創出・活性化による商業振興を図るため、熊谷駅を核とした商業地域や星川の水辺空間を利活用し、人の集う憩いの場を創出します。また、スポーツ観戦等のための来訪、国宝「歓喜院聖天堂」等の観光による人の交流は、地元産業の振興及び商品開発の「稼ぐ力」につながる商業活性化の機会と捉えてこれを推進します。

取組の方向	主な取組内容
熊谷産農産物の振興	• 熊谷産農産物のブランド化及び6次産業化 • 新規就農者の支援育成 • （仮称）道の駅「くまがや」の整備の推進（※再掲）
雇用機会の増大	• 産業誘導ゾーン等への企業誘致の推進 • 就労支援と就労環境の整備 • 産学官金連携によるビジネスマッチングの実施 • 熊谷商工会議所及びくまがや市商工会等各種団体との連携
観光交流の推進	• 熊谷市観光協会との連携による観光情報の発信 • 熊谷駅を核とした中心市街地の稼ぐ力の向上 • （仮称）北部地域振興交流拠点施設の整備推進（※再掲）

④ 親子の笑顔が輝くまちづくり

次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支えるため、安心して出産・子育てができる環境の更なる充実を図るとともに、子育て支援団体や地域等と連携して、出産前後を含む子育て期間、親子への切れ目のない支援を行い、子どもたちがのびのびと成長する姿を保護者と一緒に見守ります。

そして、本市のスポーツや文化、熊谷直実・蓮生法師、権田愛三、荻野吟子など本市の偉人や歴史、豊かな自然環境といった地域の教育資源や教育環境を生かし、子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力や郷土の誇り、社会の変化を見据え対応できる力を育みます。

取組の方向	主な取組内容
出産・育児支援の充実	• こども医療費の助成等の子育てに係る経済的負担の軽減 • 妊産婦ケアの推進
子育て・子育ちの支援	• 熊谷市子育て支援・保健拠点施設の整備 • 出産・子育ての不安解消のための相談支援 • 子育てアプリ「熊谷市ワクチン&子育てナビ」の活用促進
熊谷教育の推進	• 学力日本一（知・徳・体）の推進 • GIGAスクール構想の推進 • 熊谷式英語教育の推進 • 教育環境の整備
生涯学習の充実	• くまなびスクールの開催 • 校外施設を利用した水泳授業 • 熊谷直実・蓮生法師等郷土の偉人の顕彰

⑤ 誰もが健康で活動し、支え合う地域づくり

子どもから高齢者、障害者、ＬＧＢＴＱ等、全ての人々の活動に優しく、人々が交流できるまちを目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、ハード・ソフト両面での事業を展開するほか、地域住民がお互いの多様性を理解しつつ、助け合い、支え合える社会の実現を目指します。

また、市民の健康寿命の延伸や、地域の課題に応じた健康づくりを推進するための体制整備を行うとともに、デジタル技術の活用や移動手段の確保等により、誰もが安心して快適に暮らせる環境を整備します。

取組の方向	主な取組内容
健康寿命の延伸	• 生活習慣病予防、がんの早期発見の推進（体制の充実） • 高齢者の生きがいづくりと介護予防の支援 • 障害者の社会参加の支援
心身の充実支援	• 地域や関係機関等（民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター等）との連携 • ユニバーサルデザインのまちづくり • 心のバリアフリーの推進 • 移動支援及び公共交通の充実
コミュニティの充実	• 地域コミュニティ活動の推進 • 市民活動団体への支援、育成 • 多文化共生の推進 • （仮称）生涯活動センターの整備推進

⑥ 伝統文化とスポーツにより人々が交流するまちづくり

国宝である「歓喜院聖天堂」が立地するエリアにおいて門前町のまち並み整備を進めるほか、地域の伝統行事や歴史資源の保存活動、本市出身の偉人の顕彰等、文化芸術活動を支援するとともに、シティプロモーション等により本市の魅力を積極的に発信し、交流人口・関係人口の増加を図ります。

プロスポーツチームである埼玉パナソニックワイルドナイツ、アルカス熊谷、埼玉武蔵ヒートベアーズ、ちふれＡＳエルフェン埼玉等と連携し、スポーツ熱中都市宣言のまちとして、スポーツ活動と健康づくりを促進するとともに、県営熊谷スポーツ文化公園など、恵まれた施設環境を生かし、スポーツコミッションを中核として、大規模スポーツ大会等の誘致による交流人口の拡大を図ります。

取組の方向	主な取組内容
伝統や芸術への支援	• 伝統行事活動の支援 • 文化芸術活動の推進・情報発信 • (仮称)生涯活動センターの整備推進(※再掲)
文化の保全・充実	• 歓喜院聖天堂地区門前町のまち並み整備 • 文化財保護の推進 • 市史編さんの推進 • 熊谷直実・蓮生法師等郷土の偉人の顕彰(※再掲)
スポーツ環境の拡充	• 多様なスポーツの機会の提供及び情報発信 • 新市民体育館を含む荒川公園周辺の再整備（※再掲） • スポーツ施設の充実
スポーツによる交流拡充	• スポーツツーリズムの推進及びスポーツコミッションの運営 • 埼玉パナソニックワイルドナイツ、アルカス熊谷、埼玉武蔵ヒートベアーズ及びちふれASエルフェン埼玉との連携

⑦ 安心して暮らせる安全なまちづくり

自然災害や新型コロナウイルス感染症のように、市民生活や地域の経済活動に大きな影響を及ぼす事態に備え、国や県と連携を強化し、レジリエンス※を高める取組を推進します。それとともに、自主防災組織や地域防犯組織の活動支援、事故や犯罪を抑止する効果のある設備の設置により、安心安全なまちづくりのための地域活動を継続的に支援します。

また、市内の医療機関との連携により、感染症対策や救急対応等の医療体制の充実を図るとともに、近隣自治体との連携による広域医療体制を構築します。

なお、市民生活に直結するライフライン（上下水道、ごみ処理施設等）については、災害の影響を最低限にとどめられるよう、耐震化やバックアップ機能の整備、施設の更新を進めます。

取組の方向	主な取組内容
安全な生活環境の維持	• 医療体制の充実 • 消防及び救急・救助体制の充実 • 感染症対策の推進
災害・防犯対策の充実	• 地域活動における災害対策及び防犯対策の支援 • 街頭防犯カメラの設置 • 水道、ごみ処理施設等の耐震化やバックアップ機能の整備、下水道施設の更新 • 準用河川新星川の改修
ライフラインの整備	• 交通安全対策の推進 • 通学路や生活道路の整備推進 • 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進

※レジリエンス　「回復力」「復元力」あるいは「弾力性」とも訳されるが、防災の分野では自然災害等からの迅速な復旧を意味する。

⑧ ゼロカーボンシティを推進するまちづくり

令和４（２022）年 10 月の「ゼロカーボンシティくまがや」宣言に基づき、その実現を目指し、地球温暖化対策に係る取組を実施します。

市有施設のＣＯ$_2$削減に取り組むとともに、市全体で地球温暖化対策の取組を積極的に実践することで、「2050 年ＣＯ$_2$実質排出ゼロ」を目指し、脱炭素社会の実現を図ります。

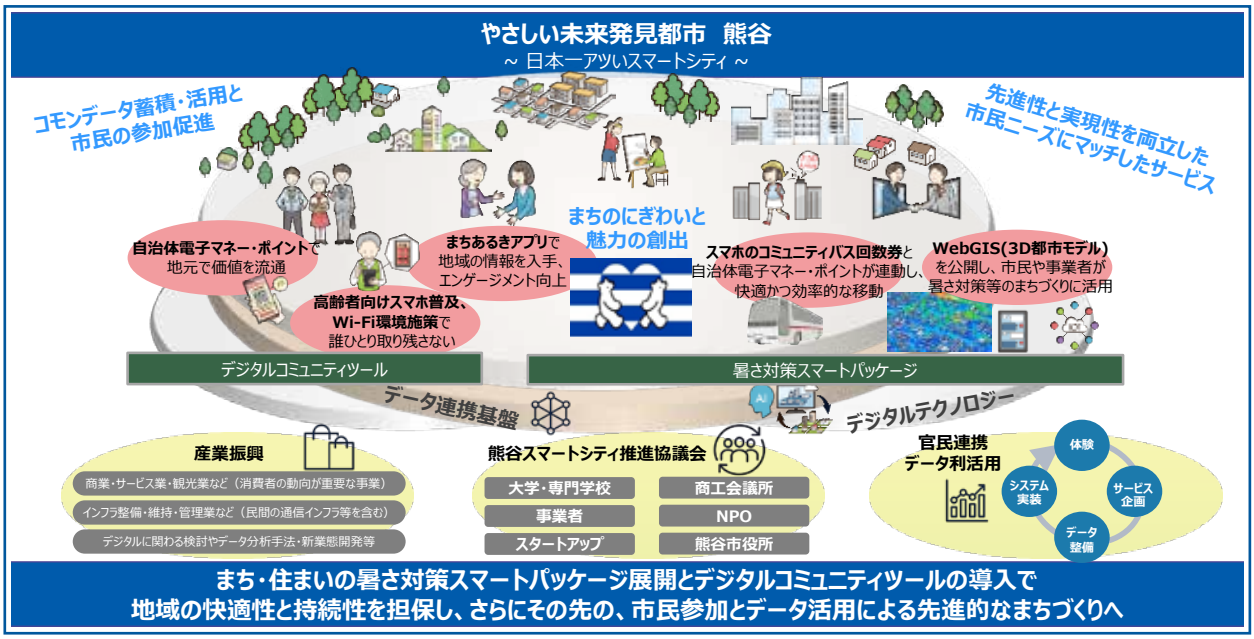
また、ゼロカーボンシティの実現に向け、市民・事業者・市による温室効果ガス削減に向けた徹底した省エネルギー化と自然と調和した再生可能エネルギーの活用・導入を促進します。

取組の方向	主な取組内容
省エネルギー化の徹底	• 市有施設での省エネルギー対策の推進 • 新たに建設する市有施設のZEB化※の推進 • 急速充電器の普及促進（市有施設） • 庁用車への次世代自動車の普及促進
温暖化防止の推進	• 地球温暖化防止活動推進センターの運営 • 熊谷版スマートハウスの推進 • PPA※の導入の検討 • COOL CHOICE※（賢い選択）の推進
ゼロカーボンシティの推進	• スマートエコタウンの整備促進（再掲） • 市有施設への再生可能エネルギー設備等の導入 • 域内適地における再生可能エネルギーの普及促進 • 電気自動車等充電設備（急速、普通、V2H）の普及促進 • 家庭用燃料電池や蓄電池の普及促進

※ZEB化　Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。「ゼブ」と呼ぶ。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

※PPA　Power Purchase Agreement（パワー・パーチェス・アグリーメント）の略称。電力販売契約という意味で第三者モデルともよばれ、企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、設置費、維持管理費及びCO_2排出の削減ができる。設備の所有は第三者（事業者又は別の出資者）が持つ形となるため、資産保有をすることなく再生エネルギー利用が実現できる。

※COOL CHOICE　CO_2などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組。



〔熊谷スマートシティ構想〕